

令和7年度 島根県保健体育功労者紹介 (敬称略 校種別に50音順)

いづ ひろし 伊津 洋士 浜田市立石見小学校	浜田市小学校体育連盟実技研究グループとして、陸上運動領域の研究を推進し、平成10年度中四国小学校体育教育研究大会及び島根県教育研究大会において発表した。さらに、令和4年度からは浜田市教育研究会保健体育部長を務め、浜田市小学校体育連盟研究部とも連携し教員の資質向上を目指した研修活動を展開している。第63回中四国小学校体育研究大会では中中学年器械運動領域（マット運動）の提案発表に係る研究を支援し、「マット運動カード」の作成や普及を図る等、学校体育の推進・発展に寄与した。
いとう しんご 伊藤 慎悟 出雲市立大社小学校	歴任校において、長く体育主任や保健主事として、児童の体力・運動技能の向上、健康教育の推進に取り組んだ。令和3年度からは、雲南市小学校体育連盟会長を務め、コロナ禍における小体連行事の在り方について議論を深め、改善を図ることで市内児童の運動学習の保障に努めた。また、第63回中四国小学校体育研究大会（島根大会）に向けて研究組織を立ち上げ、陸上運動の研究に取り組んだ。令和4年度には県小体連の副会長として、大会運営や研究推進を支えたりするなど、学校体育の発展に尽力した。
こばやし としろう 小林 敏朗 松江市立津田小学校	島大附属小学校在任時に多岐にわたる内容で実践を行い体育授業研究に努めたり、第48回全国学校体育研究大会島根大会にて「わかった」と「できた」が往還する体育学習の在り方を提案したりした。また、保健体育課の事業である「教師用DVD教材『体育の授業が楽しくなるシリーズ（マット運動編）』の作成に尽力し、現在も全県下にて授業づくりや指導改善に役立ち続けている教材を開発した。令和7年度中四国小学校体育研究会（島根大会）の指導助言者を務める等、本県の体育研究の推進や発展に貢献した。
すぎはら たかなお 杉原 孝尚 松江市立竹矢小学校	平成13年度島根県大会（益田）において、器械運動の場づくりや指導法等の研究成果を発表したり、平成22年度西部地区学校体育実技講習会に陸上領域の受講者として参加し、県内の研修会にて講師として伝達したりした。平成22年度から島根県小学校体育連盟研究部長を務め、各領域の「かかわり育成プラン」の作成を進めて中四国大会にて提案した。令和6年度から島根県小体連盟会長かつ島根県学校体育研究連合会長として、学校体育の研究推進、関係団体との連携を図り、本県学校体育の振興に寄与した。
にしこおり ゆみ 錦織 由美 出雲市立さくら小学校	平成26年度「子供の体力向上指導者養成研修」を受講し、県内で講師として伝達を行った。第63回中四国小学校体育研究大会（島根大会）では、授業公開校の研究主任として『ゲーム・ボール運動領域』の学習内容の明確化や系統的な教材配列、教具の工夫等に視点を置いた研究推進を先導して授業を実践し、研究成果を発表した。令和4年度からは島根県学校体育研究連合会の理事を務め、島根県ダンス指導者研修会開催の運営に尽力し、県内教員の表現領域における研修の充実及び授業力向上に大きく寄与した。
はまいた けんいち 濱板 健一 海士町立海士小学校	島根県小学校体育研究大会（益美）では保健領域の発表者として、主体的に問題を解決し、進んで健康や安全な生活に生かす保健の学習の研究を進め、その実践を広めた。また、平成15年度の西部体育指導者研修、平成27年度健康教育指導者養成研修に参加し、県内研修会にて運動技能や授業力の向上のために伝達した。さらに平成29、30年には、文科省教育課程研究指定校事業、体育領域（器械運動）・保健領域に管理職として関わり、器械運動の指導の在り方に示唆を与える等、学校体育の推進に取り組んだ。
いとう こうじ 伊藤 浩二 大田市立大田西中学校	分析したデータをもとに生徒の体力づくりや保健教育の改善に取り組み、大田市教育研究会等で実践発表するなど、生徒の体力向上に努めた。特に、平成16年度島根県教育研究大会（大田）では、研究校の体育主任として器械体操の授業研究を推進し、生徒が主体的に取り組む授業実践に取り組んだ。また、歴任校において陸上競技部の指導に尽力し、全国大会入賞をはじめ、中国大会優勝者も多数輩出した。また、島根県中体連陸上競技部副専門委員長として選手の指導・育成にも携わるなど、競技力向上にも貢献した。
かなやま のりゆき 金山 紀幸 島根県立松江商業高等学校	歴任校において、生徒の運動やスポーツへの興味、健康意識を高めるとともに、体力・競技力の向上に尽力し、その成果を上げた。体育の授業では、仲間と高めあえる集団づくりを心がけ、生涯を通してスポーツに親しむ態度を育成する授業実践に努めた。島根県高体連研究部委員を長年務め、平成29年度全国高体連研究大会（島根大会）では実行委員として大会を成功に導いた。また、県主催の伝達講習等で講義を行ったり強化部長を担当したりし、高校バドミントン競技における普及・発展にも大きく貢献した。
こばやし あきこ 小林 明子 島根県立宍道高等学校	保健の授業では、主体的な学びを重視したICT機器の活用による学習の工夫、体育の授業では、生涯を通じて運動・スポーツを継続できる能力の育成に主眼を置いた授業展開の追究に努め、授業や部活動を通して生徒の体力や意欲の向上、競技力の向上に尽力した。また、視覚障害を持つ生徒に対してデジタル教科書等の利用を中心に生徒の実態に合った指導を研究し実践した。平成5年度高等学校保健体育科実技講座講師や平成22年度中・高等学校体育実技研修講師等を務める等、本県高校ダンス教育の振興にも尽力した。